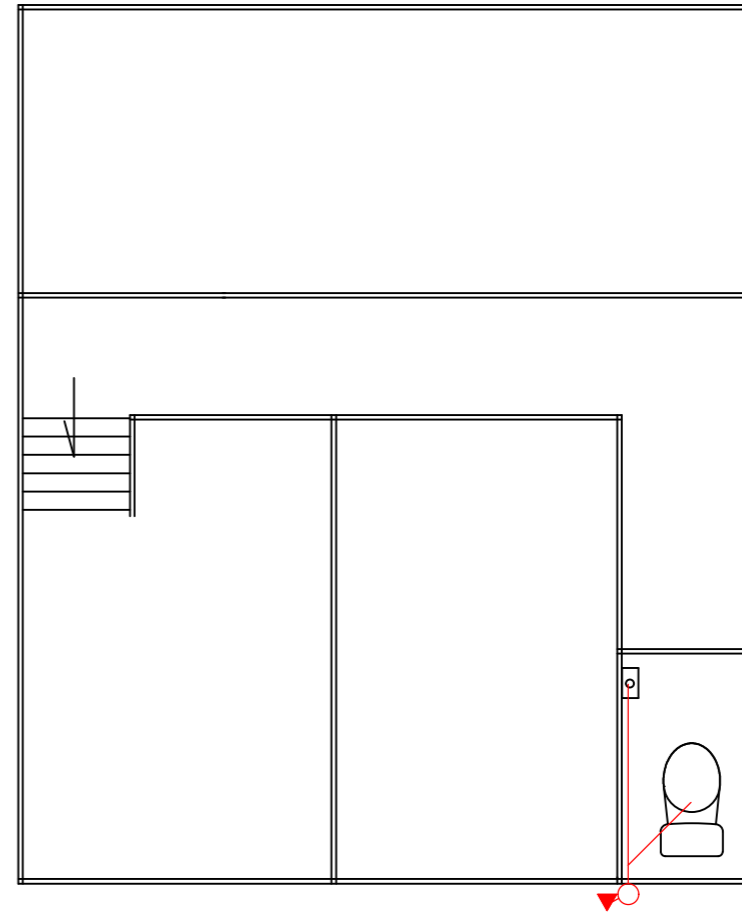
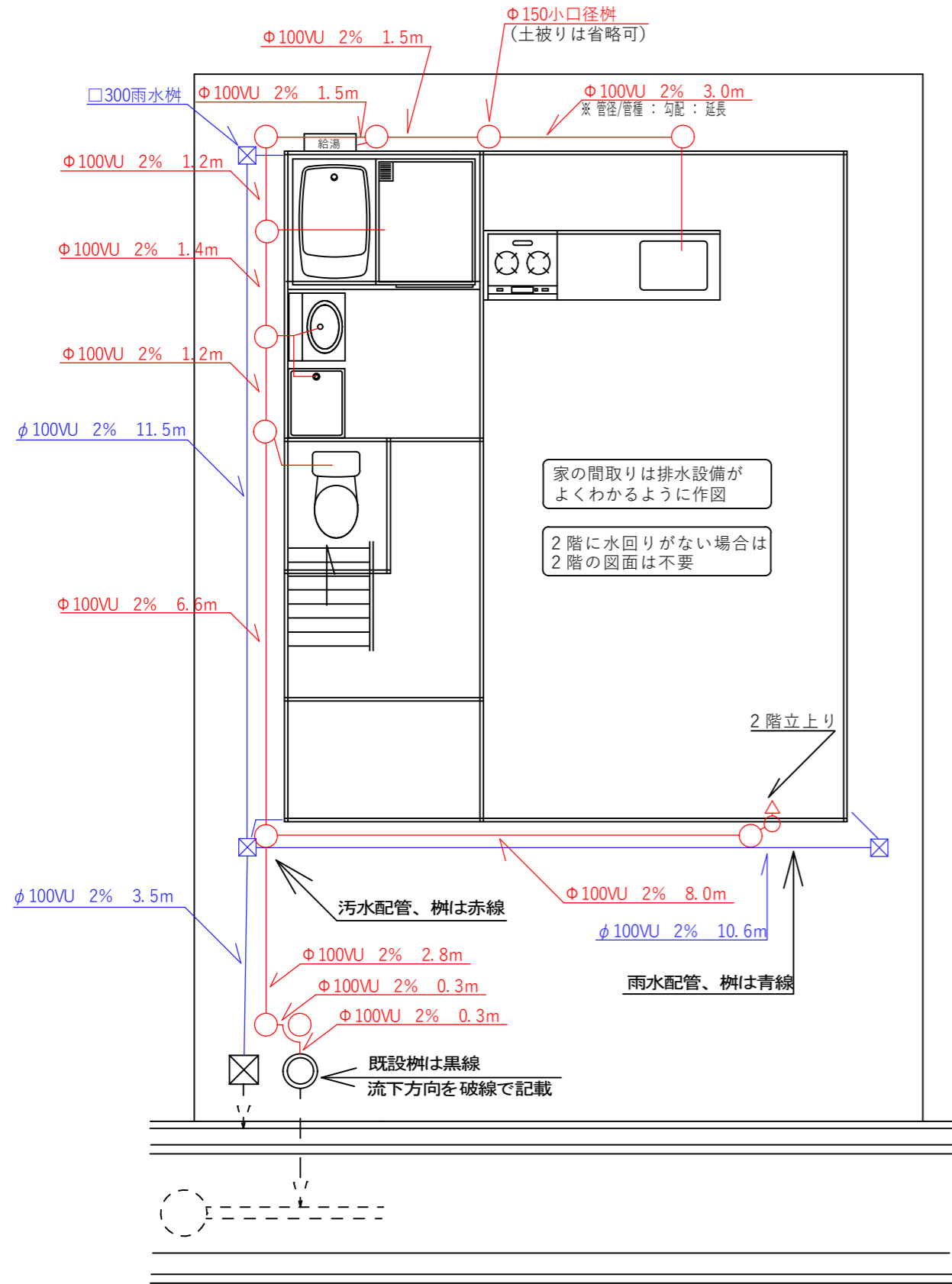
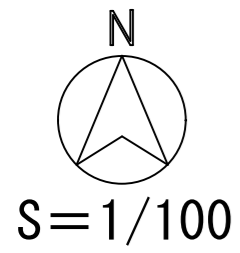


排水設備確認申請作図例



排水面積や汚水人口により各排水管口径・勾配等を適正に設計する事。

注意
 飲食店及び食料品等取扱により
 油脂類の流出が多い場合は、
 ゲリストラップ設置 (仕様書も提出)

配管条件
 宅地内は必ず分流とし、誤接続のないように注意
 配管口径は雨水・汚水共に $\Phi 100$ 以上
 配管勾配は2.0/100を確保のこと ($\Phi 100\text{mm}$ の場合)
 1スパンの最大延長は管口径の120倍以内とすること
 土被りは0.2m以上確保すること
 給湯器及びエアコンのドレンは基本的に汚水とする
 上記の適用が難しい場合は本市と協議のこと

※ 給湯器のドレン配管については、雨水放流可能な場合もあり。要相談